

長野県松本平広域公園の利活用に向けたサウンディング型市場調査質問・回答一覧

No.	質問	回答
1	<p>公園の維持管理を障がい者、引きこもりを含む生活困窮者支援として行い、県の障がい者雇用率を含め生活困窮者支援として、県が雇用を行い、彼たちの支援、スキルアップを当社が行う中で、これからの公園管理の担い手として育てていく事が今回の県の考えと合致するのか質問します。</p>	<p>本調査は、公園の利活用を図り、賑わいを創出するため、事業の発案段階で幅広くアイデアを募集し、意見を伺うことを目的としております。貴社が公園で実施したい事業と公園の利活用を関連させてご提案頂ければ幸いです。</p>
2	<p>公園の維持管理のこれからの担い手として、障がい者、引きこもりを含む生活困窮者が行こととして考えられないか、今県における障がい者雇用率のアップと生活困窮者支援として、障がい者雇用を県が行い、当社が利用者の支援とスキルアップを進め担い手づくりを進める、県職の方の障がい者との接し方も含めた事業として行うことは今回の公園管理の考えに合致しているか質問させていただきます。</p>	<p>No. 1と同じ。</p>
3	<p>松本空港公園を見たとき、国、県の真ん中に位置し、空の窓口、高速道路、国道、鉄道のアクセスも良く、災害時の緊急物資輸送にも呈しています。集まった緊急物資を種類ごとに分け必要なものを必要なところに送る拠点として考えていけないかと思えます。                      今被害地の避難施設のなで、避難施設に入れない障がい者、病気の方の避難施設として考えられないかと思えます。普段は虐待による子供の駆け込み寺として、児童養護施設とは違い一時的な保護施設として考えていけないかと思えます。                      防災公園として、雇用者が薪づくりなどを行い、災害地の暖房、料理作りのための非常用燃料づくりも含む公園利用ができないか以上のことを質問します。</p>	<p>松本平広域公園体育館は指定緊急避難場所に、やまびこドームは災害時に広域応援のベースキャンプや物資の流通配給基地等に活用される広域防災拠点施設に指定されております。                      その他、提案に対する考え方についてはNo. 1と同じです。</p>
4	<p>諏訪湖の水草を堆肥、竹炭など先人の知恵を思い生かして、さくら、藤などの中型樹での憩いの場づくり、食用ほおずき、ハーブの摘み取りなどができる庭造りを考えています。県としては、お土産店、イベント会場など箱物を考えているのか質問させていただきます。</p>	<p>箱物のみでなく、庭造り等の提案も可能です。</p>